

# 令和8年2月記者会見

## 質疑応答の概要

### ①富谷市ネイチャーポジティブ宣言

Q.

「森林再生プロジェクト事業」や「ビオトープ整備」とは、具体的にどういったことを実施する予定なのかを教えてください。

A.市長

「森林再生プロジェクト」につきましては、管理が行き届いておらず、災害に結びつく可能性があるスギの木を回収し、広葉樹へ切り替える取組です。本市では「とみやはちみつプロジェクト」を実施しておりますので、国の交付金を活用しながら、最終的には市内全てのスギの木をミツバチの蜜源になる広葉樹林に切り替えることを目指して取り組んでいきます。市有林、民有林を含めかなりの面積があるため、長い期間を要し、一気に実施することはできませんが、令和8年度は、大亀山森林公園の市有林から取組を実施してまいります。ビオトープ整備につきましては、約200ヘクタールの成田二期北工業団地の開発がいよいよスタートしますが、そこに大きな素晴らしいビオトープを設置し、自然再興を行うことを目指す取組でございます。

### ②ユートミヤ（富谷市複合図書館）完成内覧会の開催

Q.

当日の流れと、当日ユートミヤ内を案内してくれる方がいるのかどうかを教えてください。

A.図書館等複合施設開館準備室長

当日の流れにつきましては、まず入口で記名の上、入館いただきます。その後、館内は巡回できるようになっていますので、自由に内部を見学いただく形になっております。案内につきましては、当日は施設設計者も館内に滞在しておりますので、それぞれの場所で随時ご質問にお答えすることも想定しております。また、ユートミヤの運営をサポートする市民の会「ユートミヤパートナーズ（ユーとミー）」の皆さんにもお越しいただき、市民の皆さんと本市で連携・協力しながら、開催したいと考えております。

Q.

内覧会の来館者に見てほしいポイントはありますか。

A.市長

ユートミヤは市民図書館と児童屋内遊戯施設、スイーツステーション、既存の成田公民館の4つの施設が融合した施設として今回オープンしますので、それぞれ全体的に見応えが

あると施設であると思っております。

#### A. 図書館等複合施設開館準備室長

---

館内は、広い吹き抜けがあり、そこをスロープで上がっていただけたところが建物の大きな特徴となっております。回遊性が強い造りとなっておりますので、そこをぐるっと回って見ていただいたり、児童屋内遊戯施設の、特徴的な大きな遊具を見ていただきたいと考えております。

### ③富谷市と日本生命保険相互会社との包括連携協定締結式の開催

#### Q.

---

この協定に基づいた具体的な連携事業で、現在考えていることがあれば教えてください。また、日本生命保険相互会社が県内の自治体で同様の協定を締結するのは何番目なのか教えてください。

#### A. 市長

---

まず、日本生命保険相互会社は日本の医療費や医療の現状・傾向についてまとめた日生医療白書を発表しております。そのデータに基づき、事前に疾病予防する取組などを連携して実施することが今回の連携事業の一つになるものと思っております。また、今後、お互いに持っているデータ・ノウハウなどを共有し、市民のために有効活用していきたいと思っております。あと、県内の協定の締結状況につきましては、宮城県が最初に県として連携協定を締結しており、その後、石巻、名取、栗原、塩竈、仙台と締結し、本市は県内の自治体としては6番目の協定締結となる予定です。

### ⑤令和7年度富谷市スポーツ功労者表彰式の開催

#### Q.

---

高橋弘篤選手に関しまして、今回で現役引退を発表されている中でのミラノ・コルティナオリンピックでしたが、最後となる競技を見られた市長の感想をお聞かせください。

#### A. 市長

---

北京オリンピックの際、私も当時よくお会いしており、北京オリンピックにかける本人の思いが強く、ギリギリまで本当に頑張っていた姿を今でも鮮明に覚えております。残念ながら最終的に選考から外れ、普通だったらそこで心が折れると思いますが、諦めずに本当に頑張りを続けて、今回のオリンピックに出場し、結果は23位ということでございましたが、今回最後まで本人は悔いのない滑りをされたと思っております。同じ富谷生まれ、富谷育ちとして誇りに思います。

#### Q.

---

賛辞の楯を贈呈するのは今回で何人目ですか。また、高橋弘篤選手に贈呈するのは何度目になりますか。

## A.市長

---

賛辞の楯を贈呈するのは、今回で1団体と個人2人目となります。高橋弘篤選手に贈呈するのは今回で3度目となります。

## その他の案件

### Q.

---

「公開富谷塾」自走式ロープウェイ開発者に学ぶ若手起業家講演会には富谷市民以外にも参加可能でしょうか。また、今回講師に Zip Infrastructure 株式会社代表取締役 CEO をお招きするねらいを改めて教えてください。

## A.市長

---

富谷市民以外でも参加可能です。今回講師に Zip Infrastructure 株式会社代表取締役 CEO の須知 高匡さんをお招きしたのは、8期生の最後の定例富谷塾であり、先輩企業家としてどなたがふさわしいかを考えたときに、人物としてもそうですが、今一番注目度が高い自走式ロープウェイの開発を手掛けている Zip Infrastructure 代表取締役 CEO 須知 高匡さんがふさわしいと思いました。今年度自走式ロープウェイの導入可能性調査を行い、本当に多くの市民の皆さんが関心を持っていただいている内容なので、開発者本人から思いを伝えていただき、自走式ロープウェイの特徴・可能性について聞いていただける最もいいタイミングではないかと思っております。代表取締役 CEO から直接お話しを聞ける機会はなかなかないと思いますので、ぜひ多くの皆さんにご参加いただければと思っております。

### Q.

---

同じく「公開富谷塾」自走式ロープウェイ開発者に学ぶ若手起業家講演会につきまして、チラシに「自走式ロープウェイはまちづくりとビジネスの両面から注目されている」と記載がありますが、将来的に市としてこういったメリットがあるとお考えかお聞かせください。

## A.市長

---

都市型自走式ロープウェイにつきましては、コスト面、事業期間の短さ、運転手が不要なことなどがメリットであり、新しい公共交通を担えるものだと期待しております。さらに、スタートアップ起業家としての開発者の思いが結果的にまちづくりに大きく関わってくると思っておりますので、そういったところを当日お話しいただければと思っておりますし、参加者にさらに広く自走式ロープウェイに対する理解を深めていただける機会になればと考えております。